

令和6年度

信州ESDコンソーシアム成果発表&交流会

文化学園長野高等学校カンボジア海外研修のみなさんへの質問・感想

- ・ とてもわかりやすく、考えさせられる発表でした。「使い捨て文明」を変えるために、私たちは何をすればいいのでしょうか
- ・ このような活動を持続可能にするためにはどのようなことが必要ですか。
- ・ 発表に流れがあり、とても分かりやすく、情報が頭にスラスラ入ってきました。現地の人に聞いたり、自身で調べることができていて情報の背景がとれていて素晴らしいと思いました。発表の声のトーンや速さがとても聞き取りやすいと思いました。
- ・ 自分の目で見た本当の現実を、知識として捉えていた社会問題・環境問題との齟齬を感じながら、真の問題について考えて、SDGsの現実性や充実性の課題を加味しながら、世界に蔓延る問題について研究・調査されていてとても興味深いと思いました。
- ・ 地球規模の問題にまで目を向けていて良いと思った。より深く探求して行って欲しいと思う。
- ・ カンボジアでの経験を踏まえて話しており分かりやすかったです。ごみ問題について現在の状況をいろんな資料を用いて説明するとともに危機感も提唱しており伝えたいことが伝えられているように感じました。具体的な案も話すより面白かったのではないかと思います。
- ・ カンボジア研修から実際に見て気が付いた、「ごみ問題」に焦点を当て、さらにSDG s と関係づけ、発展途上国・先進国でのプラスチックごみに関する現状や問題についての考察が素晴らしいと思いました。カンボジアに行ったという貴重な経験やここで発表したことをぜひこれからも活かしてほしいなと思いました。
- ・ 非常に良い発表でした。声も聞き取りやすく、話し方も丁寧でとても聞きやすかったです。プレゼンも現地の写真を多く使っていたり、イラストが多くあったり、文字が少なく、要点のみをかいており非常に見やすかったです。内容もしっかり学んでいることが伝わる素晴らしい発表だと思いました。今後の活動を応援します!!!!!!
- ・ 自分の経験したことから問題を見出している点に好感が持てました。環境問題について私もなにか他人事だと思っている部分がありました。しかし発表を聞いてもっと自分事としてとらえるべきだと強く思えました。観客に語りかける形で発表している点がとても良かったです。
- ・ まず、「SDGsの達成は実現するのだろうか」といった強い疑問を持ったことから、実際の現状を知ろうとカンボジアに行ったという行動力が本当に素晴らしいと感じました。「発展途上国の現状を改善したい」、「環境問題を少しでも減らしたい」という声が多く上がっても、なかなかそれを実際に行動に移すことは難しく、私も、なかなか自分自身の出来事ではなく、どこか他人事として捉えてしまいがちであると思っています。そんな中で実際にカンボジアに赴き、問題と向き合い、どうすればそれを解決していけるのか・SDGsの達成につながるのかということを考え続ける姿に感銘を受けました。私も、「真の豊かさ」とは何かといったことを問い続けながら生活していきたいと感じていきました。
- ・ まず、カンボジア研修に行った行動力に感心しました。そして、カンボジアで学んだことや疑問に思ったことを私たちに伝えようとしていて、もっと多くの人にこの発表を行ってほしいと思いました。問題提起が主となっている発表だったため、難しいかもしれませんが、発表者の方の考える解決策も聞いてみたかったです。
- ・ 今回の発表では、自らカンボジアに研修に行った経験を踏まえた発表で聞いていてとても納得や考えさせられるような素晴らしい発表でした。カンボジアのゴミ問題については、聞いたことはありましたが、発展途上国だからごみがあふれると思っていましたが、実際は文化として問題ができていないことに驚きました。
- ・ ただ発表するのではなく、聞き手に質問するような入りをされていてとても良かった。また、SDGsを考えるために実際にカンボジアに行って状況を見たり、話を聞いたりしていてとても良かった。自分たちの考えも述べておりすごくよかった。この発表を通じて、自分たちがSDGsについて学んでいたのは知識理解に過ぎなかったことを学んだ。現在のSDGsの状況を知るにあたってとても良い発表だったと思う。
- ・ カンボジアという日本とは離れている国での現状をこの発表を通して学ぶことができました。特に印象的だったのがプラスチックのごみ山の写真です。日本ではゴミの分別は常識だが、カンボジアだとゴミの分別を行うことは歴史的に見ても習慣になっていないことが問題だと感じました。この発表を聞き、さらに環境汚染に対して興味がわきました。
- ・ 発表者の子がとてもはきはきと堂々と話していてとてもすごいと感じた。スライドも多くの工夫を見ることができ、私も参考にしたいと感じた。聞いている私たちも考えさせられるような内容で、危機感と同時に責任のようなものを感じる発表だった。衝撃を受けた。
- ・ 発表を聞いていて、とても、問題の重篤性を感じました。それは、お話の中で、具体的な経験談だったり、直接見てきたこと、聞いてきたこと、また、スライド内の写真もとても効果的にそこ影響を与えた要因だと思います。問題を提起するこの発表において、とても良いことだと思いました。
- ・ 途上国と先進国の協力の難しさは、日本国内だけで生活しているとなかなか意識できない。カンボジアの研修で感じたことを発信することで行ったことがない人にも現状が伝わり、少しでも「自分事」として途上国について考えることができると考え

- ・カンボジアとSDGsについての説明が分かりやすく、プラスチックゴミ問題について僕自身も考えさせられるようなよい発表でした。ごみ問題からさらに発展させているところが非常に面白く良いなと感じました。また、喋りがハキハキしていて聞きやすかったです。
 - ・先進国がプラスチック削減に取り組んでも途上国が変わらなければ意味がないという新たな視点を得て、環境問題、健康被害、貧困問題に着目して問題意識を強め、それらを伝えようとする思いが伝わってきました。カンボジアに出向いて、不平等で不公平な社会の現実を目にして訴えかける姿に、SDGsを私も表面的にしか捉えられていないことに気付かされ、もっと深く考えていこうと考えさせられました。
 - ・カンボジアでの経験だけでなくそこから自分の考えと、そう考えた理由である現地での実情をはっきり説明していてよかった。スライドの画像や出し方も効果的だった。また、話し方も上手ですごく聞きやすかった。現在の最後の問いかけが印象的だった。
 - ・テーマ設定がとても面白いなと感じ、最後に伏線回収のようにテーマの理解ができ、面白かったです。暮らしが変わるなら、習慣も変えていかなければいけない。このことがとても大切なことであり、先進国、途上国が意識をしっかりと持つことが必要だと思いました。
 - ・SDGsについて、名前だけが先走りして、対策などが進んでいないように感じる。その内容に目を向けた今回の発表は考え直すひとつのきっかけになった。課題に対する取り組みが人それぞれで違うし、国それぞれでも違うから、達成までの道のりが程遠いと思う。まずはしっかり改善策を考えてみんなが目標達成できるように意識を変えていくことが大切だと思う。
 - ・実際にカンボジアに行ったことで感じることをできたことをわかりやすくまとめてくれていてよかったです。そしてただごみのポイ捨てが悪いというのではなくなぜダメなのかもきちんと説明していてわかりやすかったです。ありがとうございました。
-
- ・「SDG sを達成することができると思いますか」という問いかけに考えさせられました。先進国に住む私たちがもっと積極的にSDG sに取り組み、発展途上国にばかりしわ寄せがいかないようにするべきであると感じました。消費することで回っている今の社会を変えない限りこの問題は続くので難しいなと感じましたが、何とかして変えていかなければならないと感じました。
 - ・実際にカンボジアで見てきたことを踏まえて発表できており、私たちのように先進国に住んでいる人からは見えない課題をわかりやすく説明していてよかったと思います。これから気を付けていくべきことを考えさせられるような発表でよかったです。
 - ・SDGsという目標は当たり前にあるが、それが現実的であるか、考えたことがなかった。それは日本に住んでいて日本での生活が当たり前になっているからであると思った。視点をカンボジアに移したとき環境問題や健康被害、貧困が顕著に見えてくると発表を通して思った。ごみという一つの問題だけでもたくさんの問題に発展すると学んだ。先進国に住んでいる人々こそSDGsについて真剣に向き合い、行動を起こしていくことが大切であると分かった。
 - ・スライドが見やすく理解しやすかったです。また、はっきりと話していたので聞き取りやすかったです。この発表により、SDG sについて考えるきっかけができ、今まで考えたことがなかったことを考えたり、知らなかったことを知ったりすることができたので参加してよかったです。
 - ・カンボジアにあるプラスチックごみの実態を知り、これは何かしなくてはならないと感じた。自分たちの生活の裏には、発展途上国との格差の問題があることを理解し、この問題に何かできることはないか考えていきたいと思った。
 - ・自らの目で確認することで自分事として捉えられていなかったと気付いていていいと思いました。先進国が消極的になってしまふ理由も考えられ、自分なりの考察が出来ていたのでもいいと思いました。スライドも動きが付けられているなど工夫がされていると感じました。
 - ・SDGsについて、カンボジアに行った経験を通して、プラスチックごみのポイ捨てについて分かりやすくまとめられていた。プラスチックごみの現状や、地球温暖化になる際の過程を明示したりしていて、ごみ問題について詳しく知ることができた。
 - ・カンボジアの実際の状況から、SDGsと関連付けて考えていることがすごいと思いました。私たちは、発展途上国の人たちのことを考えられていないことを改めて感じ、世界の状況を正確に捉えて行動していかなければならないと感じました。考えさせられる発表でとても良かったと思います。ありがとうございました。
 - ・カンボジアの実際の地に足を運んだからこそ出来る素晴らしい発表だと思いました。自分たちの国のことだけではなく、発展途上にある国がどのようにしてSDGsの達成に近づけるかというのは、考えたことがなかったのもとても興味深いと感じました。
 - ・SDGsについて、カンボジアに行った経験を通じて、プラスチックごみのポイ捨て問題をわかりやすくまとめていました。プラスチックごみの現状や地球温暖化に至る過程を明示しており、ゴミ問題について深く理解でき、とても良い経験になりました。
 - ・SDGsを達成するのは現実的であるのかという問いから始まった、プレゼンの構成はとてもインパクトがあるものでよかったなと思います。僕自身も先進国からみたSDGsの目標の達成に関して、世界の国々が一律に同じ目標を達成しようというのは国際協力の面ではいいかもしれませんが、実際には自国の解決で手いっぱいだし、各国それぞれに課題があるという状態であることから現実的ではないなと感じました。

- ・ 実際にカンボジアに足を運んで見た景色を聞くことが出来て良かったです。発表の中であった、「現地の人にゴミを捨てるという習慣がない」ということは、現地を知らなければ分からないことだと思います。SDGsを達成するために、他国でどのようなことをすべきなのか考えるためには、自国での価値観ではいけないと思うのですが、どのように他国の価値観を知ることが有効だと思いますか。
- ・ カンボジアについて深く学ぶいい機会になりました。実際ニュースや社会に出てくる環境問題や地域問題について僕たちはやはり表面的なことしか知らないのだと理解しました。そのため今回の発表を聞いて実際のカンボジアについて知ることができとても勉強になりました。
- ・ SDGsの達成は本当に現実的なのか？という問いに関して私自身もとても考えさせられました。発表ではハッキリと明言していませんでしたが、おそらく非現実的ではないのかと思っているのではないかと思います。世界規模で大きな変化がない限り、これらの解決は難しいと思いました。
- ・ 未知の場所に行くことで、普段は気づかないようなことに気づいたり、社会問題を考えたりしていたのでとても素晴らしいことだと思いました。考えたことを頭の中に留めるのではなく、実際に社会に形成できるように頑張ってもらいたいです。
- ・ 自分たちが学習したSDGsについて知識だけの世界について実態を知ること、先進国と発展途上国との違いについての疑問や目標達成は可能なのか、また、どのような対策をしていくことができるのかを自分たちで考えることができているととてもいいと思いました。
- ・ 今、世界中で議論が進んでいる環境問題等の内容がよくまとまっているなと感じました。質問を投げかけたり、先進国と発展途上国との差を、現地からの視点からしっかりと見極めており、素晴らしいなと感じました。またスライドの工夫もとてもよく、大変見やすいと感じました。
- ・ SDGsの達成が現実的であるかという批判的思考に基づいた視点で、カンボジアで実際に見た光景やそこで学んだことをもとに本質を突くようなお話をされていて大変説得力があり、私たちの消費社会がこのままでいいのかと、非常に考えさせられました。
- ・ SDGsの達成は現実的であるかという導入から入り、環境問題、健康問題、貧困問題について触れ、先進国の生活は途上国の人々の犠牲からなっていると問い、最後に最初と同じ質問をし、皆に問いかけるという形で終了し、これほど完成されたプレゼンはないと感じた。起承転結がしっかりしており、1番言いたいことを導入と結論に持ってきて完成度が高いとても良い発表であると感じた。
- ・ 昨今話題になっているプラスチックごみ問題についての内容だったので、非常にイメージの掴みやすい発表でした。また、動画での発表でしたが完成度が高く、とても上手く先進国のごみ問題のリアルについて言及してくれていました。
- ・ この発表を聞いて、実際に現地を訪れることで得られる学びの深さを感じました。特に、生活圏に大量のプラスチックごみが散乱する光景は、環境問題の深刻さを物語っています。SDGsの達成が本当に可能なのかという疑問は、多くの人考えるべき重要な視点だと思います。知識だけでなく、現場のリアルを知ることの大切さが伝わる発表でした。今後の行動につなげていくことが大切だと感じました。